

寸劇の終盤で雇い止め撤回裁判闘争の報告をする原告の越智さん(中央)と藤井さん(右)



Part II
はたらく仲間であつまろう!
「誇りと怒り」のフェスタ in おおさか
12月7日 大阪市立中央会館

「誇りと怒り」で雇い止め 阻止と均等待遇の実現を

大阪自治労連は、12月7日「誇りと怒り」の声をもちより、均等待遇の実現をめざす集会を開催しました。

闘って勝ち取った
賃金・労働条件の前進

フェスタは「友よ闘ってこそ明日がある合唱団」の合唱で始まりました。大原真委員長はあいさつで、「14秋闘でも正規・非正規が団結し、賃金や労働条件の前進を勝ち取ったこと、給食の現場では民間委託の計画を先延ばしにさせたた

たかいの中で、非正規の仲間が労働組合に加入した」ことなどを紹介しました。

**非正規労働者の
実態を川柳と寸劇で**

学童保育指導員によるけん玉パフォーマンスや、はたらく仲間の「声」をつなげる7人のリリーススピーチが行われました。自治体職場や非正規労働者の実態と

川柳と組み合わせた寸劇では、笑うに笑えない実情が見事に表現され、参加者の心を揺さぶりました。

「国会請願署名」のとり

くみや「組織強化・拡大」「裁判支援」などの行動提起が確認され、参加者全員が「翼をください」の合唱でしめくりました。



大阪自治労連執行委員長

大原 真

要求の実現と維新政治退場の 歴史に残る年に

**新しい日本と大阪を
築く年—2015年**

明けましておめでとーございませう。昨年、安倍政権のもとで消費税8%への引き上げ、戦争する国づくりなど危険な動きが顕著になりましたが、一方で反原発や憲法を守る共同のたたかきも進みました。

職場では、4月の府職労に続き、14確定闘争で少くない衛都連単組で「差額支給」が7年ぶりに行われました。非正規職員にも支給された単組もありました。生活実態や要求からすれば満足できるものはありませんが、たたかうことによって生活改善につながったことは共通の確信にしたいと思います。

2015年は、新しい日本と大阪を築く重要な年になると思います。

総選挙結果は小選挙区制の弊害で自民党が3割の得票で6割の議席を得る「虚構の1強」ですが、国民の多数意思を反映したものではありません。私たちは、引き続き広範な国民との共同を大切にしたいと思っています。昨年末の紅白歌合戦でサザンオールスターズが「ピースとハイライト」を歌ったことが話題を呼んでいます。「都合のいい大義名分(かいしゃく)で、争いを仕掛けて裸の王様が牛耳る世は、狂気」などとうた



大阪府・市地方自治研究集会—11/23

11月23日に大阪府・市地方自治研究集会が大阪市内で開催されました(主催は大阪府職労・大阪市労組が参加する実行委員会)。

みんなで考えよう、 大阪を元気にするまちづくり

的な陣営が「反維新」で良心的・保守的な陣営とつながってきた。共同に発展させていくことが重要だ」と訴えました。カジノ、水道の民営化問題で特別報告をはじめ、中小企業家、地域住民団体、自治体労働者から発言があり、みんなで考え、大阪を元気にまちにしていこうと熱意あふれる集会になりました。

今後は、「今、くらし・職場はどうなっているか?」手をつなごう!住民と自治体」というテーマで2月1日にパネルディスカッション。2月11日の府政・市政ウォッチングツアーで、大阪湾岸のWTC・咲洲庁舎、カジノ誘致の候補地、淀川左岸線などを見て学びます。

大阪自治労連 春闘討論集会



単組からも春闘勝利にむけた決意が語られました

2015春闘勝利へ!

大阪自治労連は、12月18日に春闘討論集会を開催しました。2015年春闘方針(素案)を提起するともに、大阪での2015年の春闘をたたかうにあたって、菅義人大阪府連事務局長と中村正男明るい民主大阪府政をつくる会事務局次長から、講演を受けました。

その後、単組からは「賃金確定闘

争では労使合意を踏みにじり「給与制度の総合的見直し」を議会上程されたが、その後抗議と団交で粘り強くなったかい、市長に謝罪させた。職場に労働組合が見えるようになった

と思う。組織拡大もがんばる」(高石市職労)をはじめ、大阪府職労、大阪市労組、吹田市職労が春闘に向けての決意表明を行いました。

なりに広域行政を担い、市町村支援を行っている現在の大阪府庁が府民の知らない間に大規模開発やカジノなどの行政に特化する危険性があります。

**住民との共同をさらに進め
維新政治の退場と
15春闘勝利を**

統一地方選挙は、安倍政権と対決し、維新政治を退場させる重要なたたかきとなります。吹田市や泉佐野市などでの首長選挙、維新政治の退場と住民投票を成立させない運動にとりくみます。同時に、15春闘を「給与制度の総合的見直し」を許さないたたかきや年度末にふさわしい機構改革・人事異動のとりくみ、地域春闘をすすめます。また、地域経済や民間労働者アンケートの集約もできたので、この活用もみなさんと一緒に行っていきます。

職場に足を運び、地域に出かけ、要求の実現と維新政治退場の歴史に残る1年にしたいと考えています。

今月のキーワード

「謹賀新年」

「謹んで新年をお祝い申し上げます」という意味で、四文字の賀詞(特に年賀状に用いる新年を祝う語句)の一つです。「四文字の賀詞」は相手に対する敬意や丁寧があり、目上の人に使われる言葉です。その他、新年の挨拶に使われる四文字の賀詞として「恭賀新年」(うやうやしく新年をお祝いいたします)、「謹賀新春」(謹んで初春をお祝いいたします)、「恭賀新春」(うやうやしく初春をお祝いいたします)があります。

ジェンダー平等にむけて

日本軍「慰安婦」問題

日本軍「慰安婦」問題は、第二次世界大戦の加害の実態を正面から認めるか否か、女性の人権を重要だと考えられるか否かをはかるバロメーターになっています。安倍首相の「慰安婦」問題の対応は、女性軽視とともに女性の人権侵害を認めようとしぬ点で、国際的に極めて恥ずかしいものです。日本政府に対し、国連の女性差別撤廃委員会・国連人権委員会等から「被害者への公式謝罪」等、再三の勧告がなされています。